

ミウズ

No34 | 2020 春

一人ひとりの個性と能力が発揮できる社会の実現を目指して

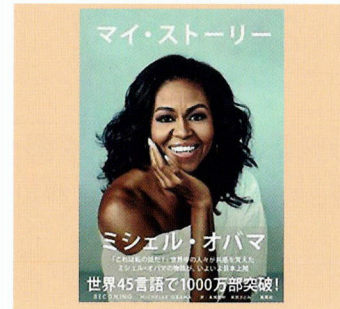
おすすめ図書

『マイ・ストーリー』 『歴史を変えた50人の女性アスリートたち』 『たまには、やすんだら?』

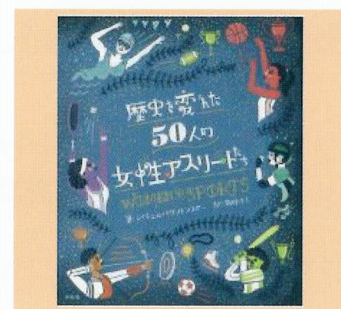
ミシェル・オバマ 著【集英社】

レイチェル・イグノトフスキー 著【創元社】

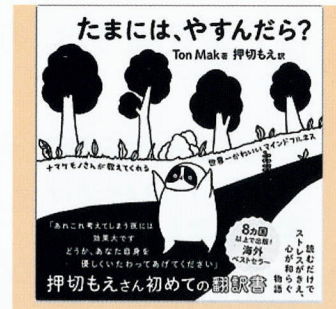
TonMak 著 押切もえ 訳【飛鳥新社】



等身大の語り口で力強く胸に迫る、前アメリカ大統領夫人の回想録。私たちと変わらない悩み多き生活を送る1人の女性の飾らない日常がいきいきと描かれています。国、文化を超えて、「私と同じだ」と深い共感の輪が広がっている大ベストセラー。



「女は弱い!」としめ出されていた近代スポーツ界に飛びこみ、圧倒的な能力と粘り強さで記録と歴史をぬりかえてきた女性アスリート50人にスポットをあて、その驚くべき成績やバイタリティあふれる人生をチャームなイラストとともに紹介します。



「ナマケモノさん」という可愛いキャラクターが海外で大ブーム中の脳の休息法「マインドフルネス」のやり方を、やさしく教えてくれる一冊。読むだけでストレスが消え、心が満たされる物語。押切もえさんが英語翻訳に初挑戦した書籍。

今回ご紹介した図書は、男女平等参画推進センターミウズに配架してあります。どうぞご利用ください。

女性のための相談

女性が抱える様々な悩みや不安に対し、解決の道を探るための1対1のカウンセリングです。専門の女性相談員が応じます。(秘密厳守)

無料

ひとりで悩まないで、一緒に考えましょう

毎週金曜日 午前10時～午後3時

(第3金曜日は午後3時～午後8時)

ご予約が必要です ☎043-460-2580

佐倉市男女平等参画推進センターミウズ

ミウズ学習室使用料 (※1時間あたり)

使用目的	午前9時～午後8時	申し込み
男女平等参画の推進を目的として使用するとき	160 円	使用月の前々月の1日から
男女平等参画の推進を目的としないで使用するとき	270 円	使用月の前月の1日から

※市外の方が利用する場合は、10割増

※参加費徴収、又は営利目的の場合は、20割増

指定管理者制度導入施設 佐倉市男女平等参画推進センター ミウズ

〒285-0837 佐倉市王子台1-23
レイクピアウスイ3階

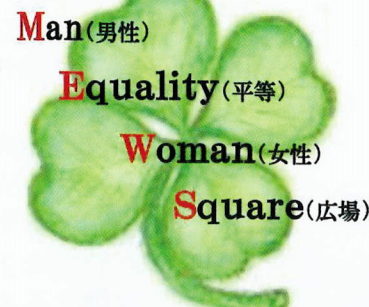
- 開館時間 9:00～20:00
- 休館日 毎月第4水曜日
年末年始(12/29～1/3)

- 施設案内
 - *学習室(定員18人)
 - *ミーティングスペース
 - *図書コーナー
(市内図書館オンライン)
 - *インターネット利用
 - *女性のための相談



<http://mews.shiteikanri-sakura.jp> E-mail:mews1@mews.shiteikanri-sakura.jp

TEL.043-460-2580 FAX.043-460-2582



佐倉市男女平等参画講座 (講座報告)

「居場所」のない男、「時間」がない女 ～共に幸せになるために～

令和元年9月21日(土)

会場: ミレニアムセンター佐倉

仕事以外の居場所に乏しい男性と、仕事と家事に追われ、時間がない女性。両者が共に幸せに生きる方法について、お話いただきました。

既婚男性は、家計を自分が支えなくてはならないという家計責任意識が未だ根強く残っており、家族間や地域での交流が乏しく、社会的孤立に陥りやすいという関係貧困の問題があります。一方、既婚女性は仕事と家事で忙しく、時間貧困に陥っているものの、忙しさをあまり認識されておらず、その上、育児について高い水準を要求されているという問題があります。また、日本の男性の関係貧困と女性の時間貧困の問題は、世界の先進国と比べても、かなり深刻とされています。

このような男女がそれぞれ抱える問題を乗り越え、共に幸せに生きるためには、女性が企業のメンバーとして、また男性が家庭・地域社会のメンバーとして積極的に参加できる環境作りが必要です。そのためには、雇用環境や社会制度の見直しを行い、働き方改革と共に、暮らし方改革を進めることが必要です、とお話しされました。

軽快な語り口で、会場を笑いに包むなど、ユーモアあふれる講演でした。



講師: 水無田 気流さん
(詩人・社会学者)

講座報告

ミウズ男女平等参画セミナー

知っておきたい家計管理、やりくりのツボ

令和元年10月8日(火) 講師：熊谷 明子さん (1級ファイナンシャルプランニング技能士)

家計管理の3つのステップについて学びました。初めに家計管理やお金に関する悩みが解消したら何がしたいか、具体的な楽しいゴールを作ります。次に収支表を作成することにより現状を正しく理解します。最後に問題点を見つけて対処していきます。大切なのは、収支表の作成を続けることと、見返す事、家計のやりくりは一人で抱え込まずに家族で共有することと教わりました。



Xmas 花の宝石箱

「レカンフラワー」講習会

令和元年12月16日(月) 講師：いわさき かおりさん (レカンフラワー協会講師)

「レカン」とは、フランス語で宝石箱の意味で、植物を自然なままの姿で乾燥させて楽しむ新感覚の立体フラワークラフトです。同じ材料でも、花の配置や向きによって、様々な表情の作品に仕上がりました。参加者の皆さんには初めてレカンを知り、楽しめたと好評でした。



パープルリボンプロジェクト

「女性に対する暴力をなくす運動」(11月12日～25日)



ミウズでは、女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた「パープルリボン・プロジェクト」に賛同した運動を行っています。期間中、市民の皆様にご協力いただき、紫色のリボンを作成していただきました。皆さんの思いのこもったリボンを、1枚のキルトに仕上げました。また、クリスマスツリーのオーナメントとしてミウズの入り口を色どりしました。



今年一年の健康を願って成木餅

白井はくすい保育園とレイクピアウスイショッピングセンターの共催で1月11日(土)、3階のイベント広場で餅つきが行われ、ミウズも協力しました。

親子でついた紅白の餅を丸め、栗の木の枝にさし、成木餅が完成しました。



2020お正月のおねんねアート

白井保育園主催の「お正月のおねんねアート」が1月14日(火)にミウズのミーティングスペースで行われました。お子さんの可愛い姿を一生懸命撮影する親と子ども達のほほえましい光景が広がりました。



ミウズのワンポイント講座

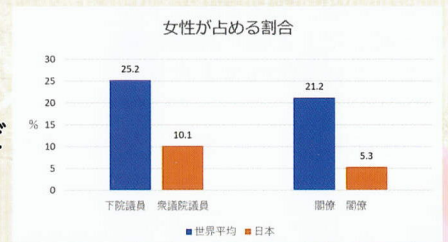
社会進出をめぐる男女格差 ～日本、過去最低の121位に～

スイスの国際機関「世界経済フォーラム (WEF)」が、各国の男女格差の大きさを調査した「グローバル・ジェンダー・ギャップ(男女格差)指数」2019年版を12月17日に発表しました。

日本は調査対象となった世界153カ国のうち、121位 (2018年は110位)、主要7カ国(G7)の中で最下位でした。

ジェンダー・ギャップ指数では、各国の男女の格差を経済・教育・健康・政治の4分野14項目で分析。各分野における男女格差に着目し、評価しています。日本の評価は、教育ならびに健康の分野は高いものの、経済と政治の分野は、他の先進国と比較しても著しく低い結果となりました。

特に政治の分野で女性が占める割合の世界平均は下院議員25.2%、閣僚で21.2%ですが、日本はこれより大幅に低く、衆議院議員で10.1%、閣僚で5.3%にとどまっています。



発表によると、対象となった153カ国のうち、男女格差が最も少ないのは11年連続でアイスランドが1位、2位がノルウェー、3位がフィンランド、4位がスウェーデンで、例年どおり、北欧の国々が上位を占めました。

先進国ではスペインが女性議員、閣僚を増やし、全体の順位で前年の29位から8位に上がり、エチオピアが順位を35位上げて82位になりました。

政治分野のランキング () は4分野の総合順位

1位
アイスランド
(1位)

5位
フィンランド
(3位)
34歳の女性首相を中心としたフィンランドの内閣

8位
スペイン
(8位)
女性が多数入閣したスペインの内閣

144位
日本
(121位)
元年9月に発足した第4次安倍改造内閣。女性閣僚は2人。

国の男女共同参画推進本部は、「指導的地位に占める女性の割合を2020年までに30%程度に」という目標を2003年に決定しましたが、2020年になる今年でも政治・経済の分野においては、ほとんど改善されていません。諸外国は多様性を尊重し、女性にチャンスを与えようと仕組みを整えてきた中で、このままでは、日本は国際社会から取り残されてしまいます。

世界経済フォーラムがこの報告書を出すのは、男女平等が経済成長につながると考えているからです。また、世界全体で男女間の格差をすべて解消するにはまだ100年近くかかるとして、各国に対して取り組みを強化するよう求めています。

